

## 核融合科学研究所の組織改編について（案）

### 1. 改編の概要

#### （1）内容及び理由

##### ①『ユニット体制』の構築

これまで核融合科学研究所は、「ヘリカル研究部」一部門体制の下、ヘリカル型プラズマの高性能化やプラズマの物理メカニズムの解明など、多くの研究成果を上げてきた。今後は、核融合科学分野の学術研究促進のみならず、核融合科学の学際化を進めるとともに、分野を超えた学際的な連携研究を創出するため、従来の「ヘリカル研究部」一部門体制を改編し、「プロジェクト」及び「研究系」を廃止して、新たに「ユニット体制」を構築する。

多くの難題を束にした総合的な研究分野である核融合科学を「学術的テーマ」に分節化し、問題を一般化することで、他分野と連携した共同研究を実現するため、「ユニット体制」においては、核融合科学の未来像に焦点をあてる先端的な研究テーマを掲げた共同研究チームである「ユニット」によって研究組織を編成する。

##### ②『核融合科学学際連携センター』の新設

「ユニット体制」の下で実施する学際的共同研究を先導し支援する戦略的イニシアティブをとるため、新たに「核融合科学学際連携センター」を設置する。

同センターには、「先端学術研究連携部門」、「開発研究連携部門」、「産学連携部門」の3部門を置き、「ユニット」が互いに協力して実施する学際化の三つのベクトル「学術、開発、技術」へ向けた連携研究を強化する。

##### ③『プラットフォーム企画室』の新設

大型ヘリカル装置（LHD）やスーパーコンピュータ「プラズマシミュレータ“雷神”」、工学研究施設など世界最先端の大型研究設備を、学際的な研究基盤（プラットフォーム）として総合的な学術戦略に基づいて有効活用し、共同研究を推進するため、研究設備の運営を担う組織として、新たに「プラットフォーム企画室」を設置する。

##### ④『研究教育改善室』の新設

「ユニット体制」の下で、核融合科学研究所における学術企画、人材育成、国際協力及び知的財産の運用等を強化し、研究所の研究教育の高度化を図るため、新たに「研究教育改善室」を設置する。

##### ⑤『ヘリカル研究部』等の名称変更、及び『重水素実験推進本部』の廃止

今回の組織改編に伴い、「ヘリカル研究部」を「研究部」に、「安全衛生推進部」を「安全衛生推進センター」に、「情報通信システム部」を「情報システム・セキュリティセンター」に、「対外協力部」を「広報室」に名称変更し、組織の機能強化等を図るほか、令和4年度で重水素実験が終了予定であるため、「重水素実験推進本部」を廃止する。

なお、安全対策など重水素実験の終了後も実施する必要がある取組等については、「安全衛生推進センター」に移管し、今後も継続して実施する。

#### （2）中期計画等との関連性

第4期中期計画における以下の項目を実現するための取組みである。

##### I 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

## 1 研究に関する目標を達成するための措置

- [1] 自然科学分野の学術研究を先導する中核拠点として、世界最先端の学術研究を推進し、世界最高水準の研究成果を創出して、当該分野における我が国のプレゼンスを高める。
- [4] 核融合科学分野では、高温プラズマの中心的な課題（略）について、（略）実験と理論シミュレーションの連携と国内外の研究機関との共同研究により、それらの物理機構の解明を行う。研究者コミュニティの合意形成及び核融合研究の学際化に向け主導的な役割を担い、実験装置、超高速計算機、統合解析システム、シミュレーションコード等を活用・整備・拡張し、世界最先端の学術研究を多角的に推進する。
- [8] 核融合科学分野において、高度な極限技術の複合系である核融合システムの実現に向けた課題について学際化に取り組み、技術の普遍化を図る。（略）関連研究分野との連携を強化し、広く科学技術の基盤醸成に貢献する。
- [9] （略）エネルギーの高効率利用に核融合極限技術を適用し、広くエネルギー科学研究を展開することにより、水素エネルギー社会・カーボンフリー社会の実現に貢献する。

## 2. 組織・体制整備

### （1）改編後の組織

別紙組織図参照

### （2）現所属職員の改編後の処遇

#### ①『ユニット体制』の構築

改編後、「研究部」に属している職員は、必ずいずれかの「ユニット」に属することとし、現在、「ヘリカル研究部」に属している職員を、「ユニット」の職員として配置換を行う。

#### ②『核融合科学学際連携センター』の新設

現在、「ヘリカル研究部」及び「技術部」に属している職員の中から所要の人員を充てる。

#### ③『プラットフォーム企画室』の新設

現在、「ヘリカル研究部」及び「技術部」に属している職員の中から所要の人員を充てる。

#### ④『研究教育改善室』の新設

現在、「ヘリカル研究部」に属している職員の中から所要の人員を充てる。

#### ⑤『ヘリカル研究部』等の名称変更、及び『重水素実験推進本部』の廃止

「ヘリカル研究部」、「安全衛生推進部」、「情報通信システム部」、「対外協力部」は名称変更である。「重水素実験推進本部」に専任の職員はおらず、同部の廃止により、併任は終了する。

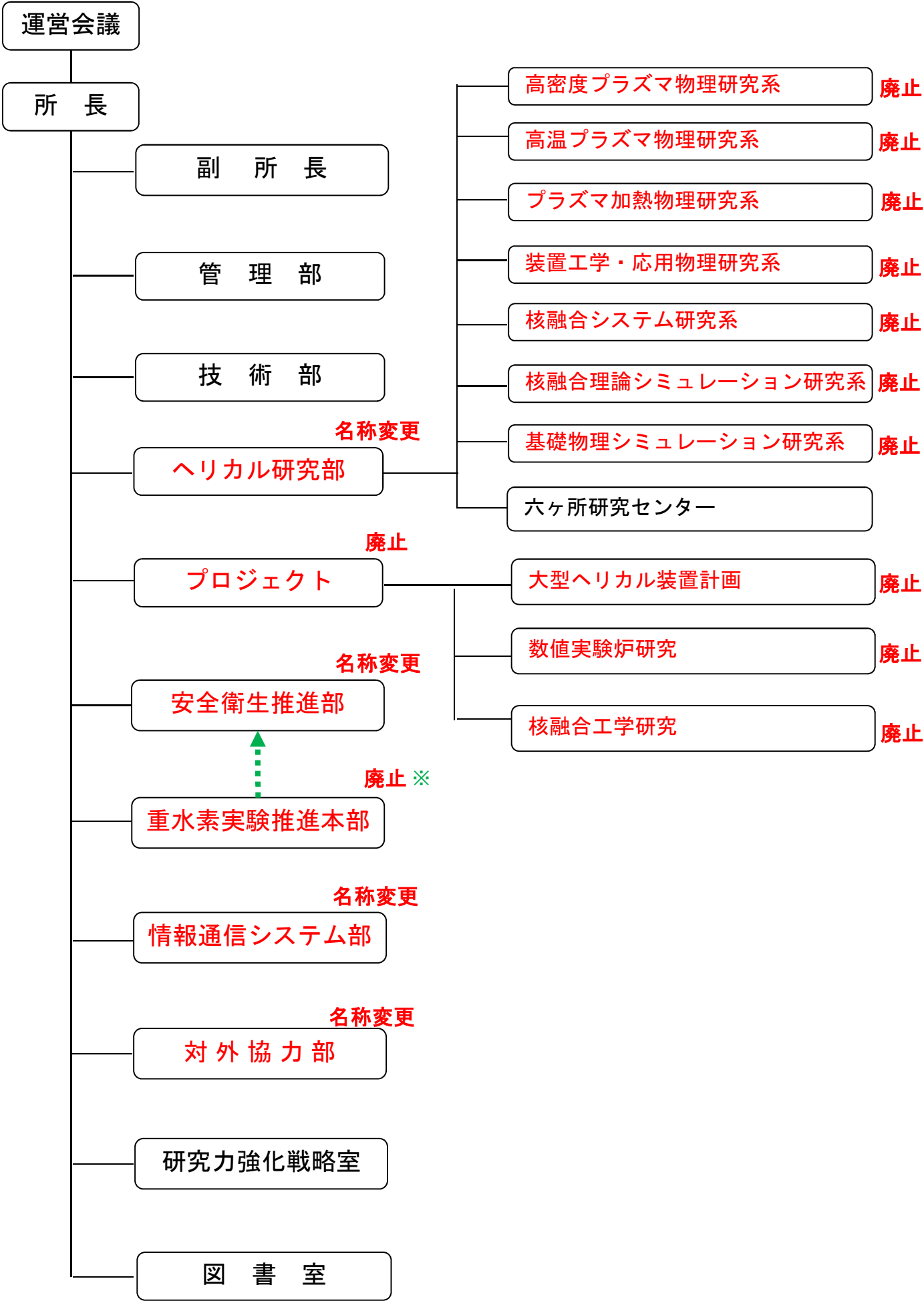
## 3. 改編時期

令和5年4月1日

## 4. 備考

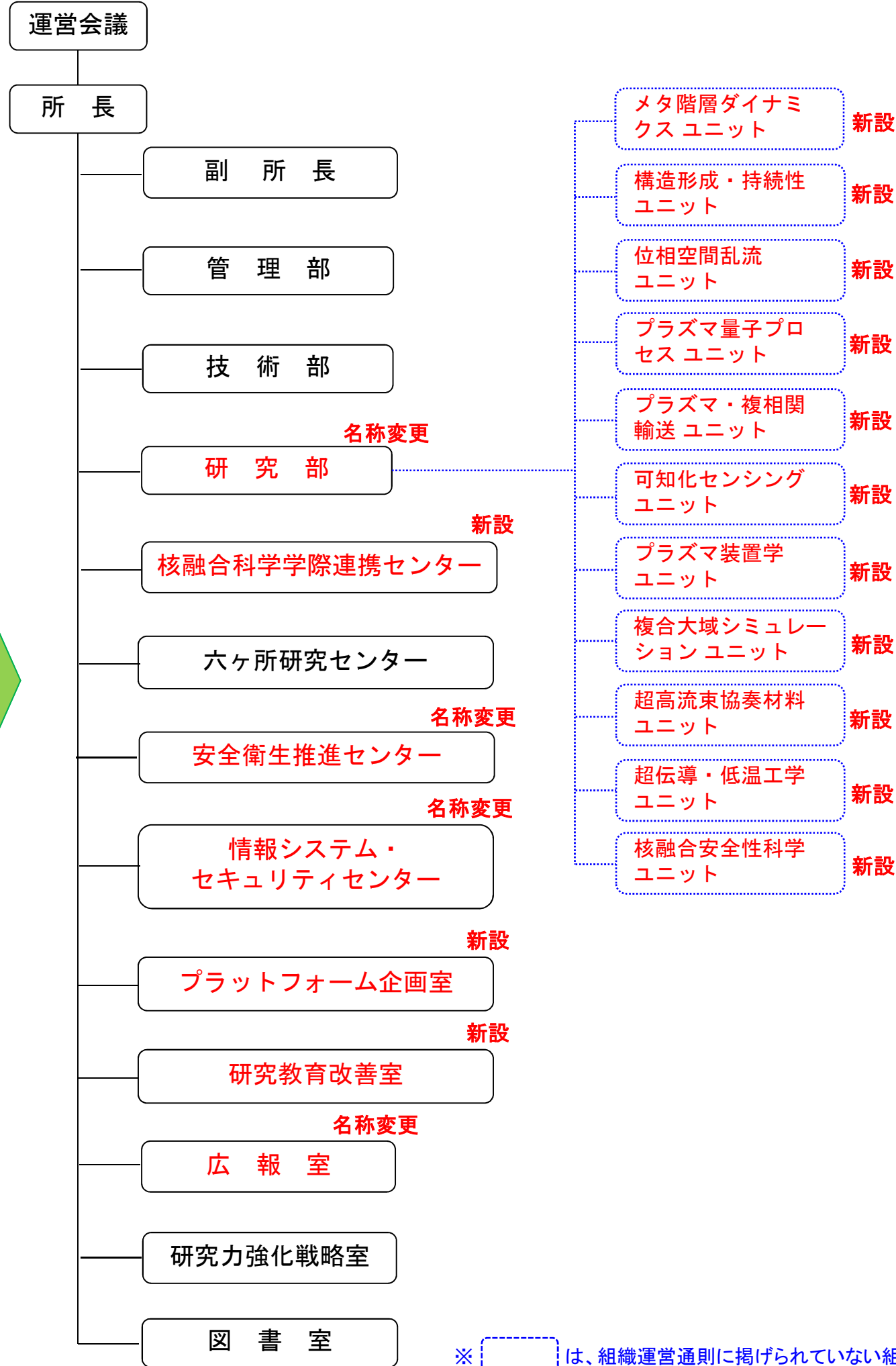
- ・組織改編に伴って不用となる設備等はない。
- ・組織運営通則の改正あり。

令和4年度 組織図（核融合科学研究所）



※ 重水素実験推進本部の一部の機能は安全衛生推進部に移管

令和5年度 組織図（核融合科学研究所）



※ [ ] は、組織運営通則に掲げられていない組織

大学共同利用機関法人自然科学研究機構組織運営通則 一部改正（案） 新旧対照表

現 行（旧）	改 正（新）
<p>大学共同利用機関法人自然科学研究機構組織運営通則</p> <p>平成16年4月1日 通 則 第 1 号</p> <p>目次 （略）</p> <p>第1章～第5章 （略）</p> <p>第6章 核融合科学研究所</p> <p>（副所長）</p> <p>第27条 核融合科学研究所に副所長1人を置き，教授をもって充てる。 （内部組織）</p> <p>第28条 核融合科学研究所に，次の3部を置く。</p> <p>一 管理部</p> <p>二 技術部</p> <p>三 <u>ヘリカル研究部</u></p> <p>2 核融合科学研究所に，次の<u>プロジェクト</u>を置く。</p> <p>一 <u>大型ヘリカル装置計画</u></p> <p>二 <u>数値実験炉研究</u></p> <p>三 <u>核融合工学研究</u></p> <p>3 <u>核融合科学研究所に安全衛生推進部，重水素実験推進本部，情報通信システム部及び対外協力部を置く。</u></p>	<p>大学共同利用機関法人自然科学研究機構組織運営通則</p> <p>平成16年4月1日 通 則 第 1 号</p> <p>目次 （略）</p> <p>第1章～第5章 （略）</p> <p>第6章 核融合科学研究所</p> <p>（副所長）</p> <p>第27条 核融合科学研究所に副所長1人を置き，教授をもって充てる。 （内部組織）</p> <p>第28条 核融合科学研究所に，次の3部を置く。</p> <p>一 管理部</p> <p>二 技術部</p> <p>三 <u>研究部</u></p> <p>2 核融合科学研究所に，次の<u>4センター</u>を置く。</p> <p>一 <u>核融合科学学際連携センター</u></p> <p>二 <u>六ヶ所研究センター</u></p> <p>三 <u>安全衛生推進センター</u></p> <p>四 <u>情報システム・セキュリティセンター</u></p> <p>3 削除</p>

<p>4 核融合科学研究所に<u>図書室</u>を置く。</p> <p>5 前<u>4</u>項に掲げるもののほか、核融合科学研究所にその他の組織を置くことができる。 (管理部<u>及び技術部</u>)</p> <p>第29条 管理部<u>において</u>は、総務、研究連携及び財務等に関する事務を処理する。</p> <p><u>2 技術部においては、技術に関する専門的業務を処理する。</u></p> <p><u>3 管理部に、その所掌事務を分掌させるため、機構長が別に定めるところにより、課を置く。</u></p> <p><u>4 技術部に、その所掌事務を分掌させるため、別に定めるところにより、課を置く。</u></p> <p><u>5 管理部及び課に、それぞれ部長及び課長を置き、事務職員をもって充てる。</u></p> <p><u>6 技術部及び課に、それぞれ部長、副部長及び課長を置き、技術職員をもって充てる。</u></p> <p><u>7 部長は、部の業務を掌理する。</u></p> <p><u>8 副部長は、部長を補佐し、部長に事故があるときはその職務を代理する。</u></p> <p><u>9 課長は、課の事務又は業務を処理する。</u> <u>(新設)</u></p>	<p>4 核融合科学研究所に、<u>次の4室</u>を置く。</p> <p><u>一 プラットフォーム企画室</u></p> <p><u>二 研究教育改善室</u></p> <p><u>三 広報室</u></p> <p><u>四 図書室</u></p> <p>5 前<u>各</u>項に掲げるもののほか、核融合科学研究所にその他の組織を置くことができる。 (管理部)</p> <p>第29条 管理部は、総務、研究連携及び財務等に関する事務を処理する。</p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>2 管理部に、その所掌事務を分掌させるため、機構長が別に定めるところにより、課を置く。</u> <u>(削る)</u></p> <p><u>3 管理部及び課に、それぞれ部長及び課長を置き、事務職員をもって充てる。</u> <u>(削る)</u></p> <p><u>4 部長は、部の業務を掌理する。</u> <u>(削る)</u></p> <p><u>5 課長は、課の事務又は業務を処理する。</u> <u>(技術部)</u></p> <p><u>第29条の2 技術部は、技術に関する専門的業務を処理する。</u></p> <p><u>2 技術部に、その所掌事務を分掌させるため、別に定めるところにより、課を置く。</u></p>
---	--

<p><u>(ヘリカル研究部)</u></p> <p>第30条 第28条第1項第3号に規定する<u>ヘリカル研究部</u>に<u>次の7研究系及び1センター</u>を置く。</p> <p>一 <u>高密度プラズマ物理研究系</u></p> <p>二 <u>高温プラズマ物理研究系</u></p> <p>三 <u>プラズマ加熱物理研究系</u></p> <p>四 <u>装置工学・応用物理研究系</u></p> <p>五 <u>核融合システム研究系</u></p> <p>六 <u>核融合理論シミュレーション研究系</u></p> <p>七 <u>基礎物理シミュレーション研究系</u></p> <p>八 <u>六ヶ所研究センター</u></p> <p>2 <u>ヘリカル研究部</u>に長を置き、教授をもって充てる。</p> <p>3 <u>前項の長</u>は、<u>ヘリカル研究部</u>の<u>研究業務を掌理</u>する。</p> <p>4 <u>各研究系</u>に<u>研究主幹</u>を置き、<u>教授</u>をもって充てる。</p> <p>5 <u>研究主幹</u>は、当該<u>研究系における研究及び研究指導に関し</u>、総括し、及び調整する。</p> <p>6 <u>六ヶ所研究センター</u>に長を置き、教授又は准教授をもって充てる。</p> <p>7 <u>前項の長</u>は、<u>六ヶ所研究センターの研究業務を掌理</u>する。</p> <p><u>(プロジェクト)</u></p> <p>第31条 第28条第2項に規定する<u>プロジェクト</u>は、<u>運営会議の議に基づき、所長が定める。</u></p>	<p>3 <u>技術部及び課に、それぞれ部長、副部長及び課長を置き、技術職員をもって充てる。</u></p> <p>4 <u>部長は、部の業務を掌理する。</u></p> <p>5 <u>副部長は、部長を補佐し、部長に事故があるときはその職務を代理する。</u></p> <p>6 <u>課長は、課の事務又は業務を処理する。</u></p> <p><u>(研究部)</u></p> <p>第30条 第28条第1項第3号に規定する<u>研究部</u>に、<u>別に定めるところにより、ユニット</u>を置く。</p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p>2 <u>研究部</u>に<u>部長</u>を置き、教授をもって充てる。</p> <p>3 <u>部長は、研究部の研究業務に関する重要事項を総括整理</u>する。</p> <p>4 <u>ユニット</u>に<u>ユニット長</u>を置き、<u>研究教育職員</u>をもって充てる。</p> <p>5 <u>ユニット長</u>は、当該<u>ユニットの運営について</u>、総括し、及び調整する。</p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p><u>(センター)</u></p> <p>第31条 第28条第2項に規定する<u>センター</u>に<u>センター長</u>を置き、<u>教授又は准教授</u>をもって充てる。</p>
--	---

2 前項に規定するプロジェクトを総括するため、次の表のとおり責任者を置き、教授をもって充てる。

<u>プロジェクト名</u>	<u>責任者の呼称</u>
<u>大型ヘリカル装置計画</u>	<u>研究総主幹</u>
	<u>実験統括主幹</u>
<u>数値実験炉研究</u>	<u>研究総主幹</u>
<u>核融合工学研究</u>	<u>研究総主幹</u>
	<u>研究統括主幹</u>

3 大型ヘリカル装置計画の研究総主幹は、大型ヘリカル装置計画におけるプラズマの高性能化研究を主導し、実験計画を総括する。

4 大型ヘリカル装置計画の実験統括主幹は、大型ヘリカル装置計画における施設整備を主導し、保守管理及び改良計画を総括する。

(安全衛生推進部)

第32条 第28条第3項に規定する安全衛生推進部に長を置き、教授をもって充てる。

2 前項の長は、安全衛生推進部の業務を掌理する。

3 安全衛生推進部に関し必要な事項については、別に定める。

(重水素実験推進本部)

第32条の2 第28条第3項に規定する重水素実験推進本部に長を置き、教授をもって充てる。

2 前項の長は、重水素実験推進本部の業務を掌理する。

3 重水素実験推進本部に関し必要な事項については、別に定める。

(情報通信システム部)

第33条 第28条第3項に規定する情報通信システム部に長を置き、教授をもって充てる。

2 前項の長は、情報通信システム部の業務を掌理する。

3 情報通信システム部に関し必要な事項については、別に定める。

2 センター長は、当該センターの業務を掌理する。

3 センターに関し必要な事項については、別に定める。

(削る)

(室)

第32条 第28条第4項に規定する室に室長を置き、教授をもって充てる。

2 室長は、当該室の業務を掌理する。

3 室に関し必要な事項については、別に定める。

(削る)

第33条 削除

(削る)

(削る)

<p><u>(対外協力部)</u></p> <p><u>第33条の2 第28条第3項に規定する対外協力部に長を置き、教授をもって充てる。</u></p> <p><u>2 前項の長は、対外協力部の業務を掌理する。</u></p> <p><u>3 対外協力部に関し必要な事項については、別に定める。</u></p> <p><u>(図書室)</u></p> <p><u>第33条の3 第28条第4項に規定する図書室に長を置き、教授をもって充てる。</u></p> <p><u>2 前項の長は、図書室の業務を掌理する。</u></p> <p><u>3 図書室に関し必要な事項については、別に定める。</u></p> <p>(委員会等)</p> <p>第34条 核融合科学研究所に、業務上の必要事項について審議するため、委員会を置くことができる。</p> <p>第7章～第11章 (略)</p> <p>附 則 (略)</p>	<p><u>(削る)</u></p> <p><u>(削る)</u></p> <p>(委員会等)</p> <p>第34条 核融合科学研究所に、業務上の必要事項について審議するため、委員会を置くことができる。</p> <p>第7章～第11章 (略)</p> <p>附 則 (略)</p> <p>附 則</p> <p><u>この通則は、令和5年4月1日から施行する。</u></p>
---	--